サポート情報記事

List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプション

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

列コンフィギュレーターを開く 4

見出しと順序 5

動作オプション 6

列の種類ごとの形式 8

　ユーザーのプロファイル カード 10

列の幅 11

コンパクト モード 11

専用の表示形式がない列の種類 12

用語 13

はじめに

List Filter Online は、**SharePoint** のリストやドキュメント ライブラリのビューを使用しません。代わりに、Web パーツが表示するテーブルの定義を独自に保持します。含める列、その順序、見出し、各列の動作、値の書式がこれに当たります。これらはすべて、プロパティ ウィンドウの列コンフィギュレーターという 1 か所で設定します。

この記事では、列コンフィギュレーターのすべてのオプション、列の種類ごとに使用できる表示形式、テーブル全体に影響する外観の設定について説明します。List Filter Online バージョン 26.10 以降に対応しています。

> メモ
>
> 列の設定は、ページ上の Web パーツのインスタンスに属します。リスト、その列、ビューは変更されず、同じリストをページごとに異なる列と形式で表示できます。

列コンフィギュレーターを開く

ページを編集し、Web パーツのプロパティ ウィンドウを開いて、**データ ソース**グループを展開します。**リスト** を選択すると、グループに **列** ラベルと現在含まれている列の名前が表示され、その後ろに **列の選択**ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると **列** パネルが開き、「このリスト ビューに表示する列を選択してください。」というテキストと、リストの列ごとに 1 行ずつの一覧が表示されます。

各行は、次の要素で構成されます。

- **表示:** 列をテーブルに含める、または除外するためのチェック ボックス
- **列:** リスト内の列の名前
- **列の種類:** 1 行テキストやユーザーまたはグループなど、列の SharePoint での種類
- **キャプション:** テーブルに表示される見出し
- **書式:** 値の表示形式
- **順序:** テーブル内での列の位置
- **設定:** アイコンで表示される、列の動作オプション

変更は **保存**で適用され、**キャンセル**で破棄されます。**表示** がオンになっている列のみが Web パーツに保持されます。



List Filter Online Web パーツの 列パネル

内部メタデータ　フィールドなど、表示できないシステム列は一覧に表示されません。SharePoint が管理されたメタデータ列用に作成する非表示のテキスト　フィールドもスキップされるため、管理されたメタデータ列は、その列自身の名前で　1 回だけ表示されます。

開発者ツールグループで　**開発者モードを有効にする**をオンにすると、各行の列名の前にインデックスのインジケーターが表示され、列名の後ろの角かっこ内に列の内部 (スキーマ) 名が表示されます。インジケーターは、インデックスが作成されている列では緑、インデックスが作成されていない列では赤で表示され、ツールヒントには **(インデックス付き)** または **(インデックスなし)** と表示されます。インデックス列は、Web パーツが大規模なリストを扱う際に重要です。KB10257. 大規模リストのフィルター処理: インデックス付き列と 5,000 アイテムのしきい値を参照してください。

見出しと順序

キャプション　は、列ヘッダーに表示されるテキストです。既定ではリスト内の列の名前と同じです。それ以外のテキストを入力すると、この Web パーツでのみ列の名前が変更されます。たとえば、「ドキュメントの更新日時」を「更新日時」

に短縮できます。見出しを空にした場合、Web パーツは列の名前を使用します。見出しは、テーブルを Excel にエクスポートするときの列ヘッダーとしても使用されます。

順序 は、1 からリストの列数までの位置を選択するドロップダウンです。新しい位置を選択すると、列がその位置に移動し、他の列がそれに応じてずれます。パネルを開くと、すでに含まれている列が現在の順序で先頭に表示され、その後に表示されていない列が続きます。

ヒント

見出しや形式を細かく調整する前に、列の最終的な順序を決めておいてください。編集中の行は位置が変わらないため、テーブルでの結果を想像しやすくなります。

動作オプション

各行の **設定** セルには、5 つのアイコンがあります。強調表示されているアイコンはオプションがオンであること、薄く表示されているアイコンはオフであることを示します。アイコンをクリックすると、オプションが切り替わります。列に適用できないオプションは無効の状態で表示され、切り替えられません。

アイコン	オプション	機能
幅の調整	**サイズ変更可能**	ユーザーは、列ヘッダーの右端をドラッグして列の幅を変更できます。既定でオンです。
列セクション	**折りたたみ可能**	テーブルの幅が列の幅の合計より狭い場合、Web パーツは他の列を圧縮する代わりに、この列を非表示にすることがあります。既定ではオフです。
フィルター	**フィルター可能**	列をヘッダー メニューに追加します。ユーザーは

アイコン	オプション	機能
		ここで、フィルター処理する値を選択したり、フィルターをクリアしたりできます。SharePoint でフィルター処理が許可されている列でのみ使用できます。
並べ替え	並べ替え可能	ヘッダー メニューに昇順と降順の並べ替えを追加します。SharePoint で並べ替えが許可されている列でのみ使用できます。
リンク	アイテムへのリンク	値を項目へのリンクとして表示します。ドキュメントは新しいタブで開き (ブラウザー内、または動画の場合は Stream プレーヤー)、リスト項目は新しいタブで表示フォームが開き、フォルダーは Web パーツ内で開きます。サムネイル列と ハイパーリンクまたは画像列では使用できません。タイトル列では既定でオンです。

フィルター可能 または 並べ替え可能 がオンになっている列のヘッダーには、ドロップダウンの矢印が表示されます。両方がオフの列には、ヘッダー メニューがありません。ヘッダー メニューによるフィルター処理と並べ替えについては、KB10252. List Filter Online: エンド ユーザー向けクイック ガイドで説明しています。



列の動作オプション

複数行テキスト列は、自動的に複数行のセルとして表示されます。テキストはセル内で折り返され、途中で切り取られることはありません。これを制御する個別のオプションはなく、列の種類に従います。追記専用の複数行列 (「既存のテキストへの変更の追加」が有効な列) では、保存されているテキストが書式付きで表示されます。

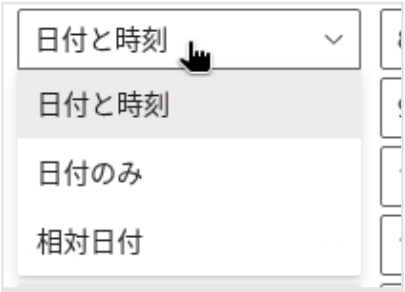
列の種類ごとの形式

書式 ドロップダウンには、列の種類に適した表示形式が表示されます。ほとんどの列の種類では、値の表示方法が 1 つしかないため、ドロップダウンには **(既定)** と表示され、無効になっています。一覧の最初の形式が、他の形式を選択しない場合に使用される形式です。

列の種類	形式	テーブルでの表示結果
日付と時刻	**日付と時刻**、**日付のみ**、**相対日付**	**日付と時刻** は日付と時刻を表示し、**日付のみ** は日付のみを表示し、**相対日付** は「3 日前」や「2 か月後」のように現在からの隔たりを表示します。3 つの形式のいずれでも、値のツールヒントに正確な日付と時刻が表示されます。
ルックアップ (単一値および複数値)	**アイテムへのリンク**、**値**	**アイテムへのリンク** は、各値を、元のリストの項目の表示フォームが新しいタブで開くリンクとして表示します。**値** はテキストのみを表示します。

列の種類	形式	テーブルでの表示結果
		複数の値は、縦に並べて一覧表示されます。
ユーザーまたはグループ (単一値および複数値)	**ユーザー名**、**ユーザー名 (画像付き)**、**ユーザー名 (画像と詳細付き)**	**ユーザー名** は表示名を表示します。画像付きの 2 つの形式では、小さなプロファイル画像が表示名と役職とともに表示されます。どの形式でも、名前をクリックすると、後述のプロファイル カードが開きます。
サムネイル (ドキュメント ライブラリの サムネイル列と画像列)	**176 x 99 px** (既定)、**96 x 54 px**	選択したサイズでのドキュメントまたは画像のプレビューです。画像列の場合、プレビューは画像ファイルを新しいタブで開くリンクになります。
ハイパーリンクまたは画像 (ハイパーリンクとして表示)	**(既定)**	説明をテキストとするリンク。説明がない場合はアドレスをテキストとするリンクです。
ハイパーリンクまたは画像 (画像として表示)	**32 x 32 px** (既定)、**64 x 64 px**、**96 x 96 px**	選択したサイズの画像で、画像ファイルへのリンクが設定されます。
その他のすべての種類	**(既定)**	SharePoint がリストで表示するとおりの値です。テキスト、数値、通貨、はい/いいえ、選択肢、管理されたメタデータのラベル、計算値、評価が含

列の種類	形式	テーブルでの表示結果
		まれます。複数の選択肢と複数の管理されたメタデータの値は、セミコロンで区切られます。

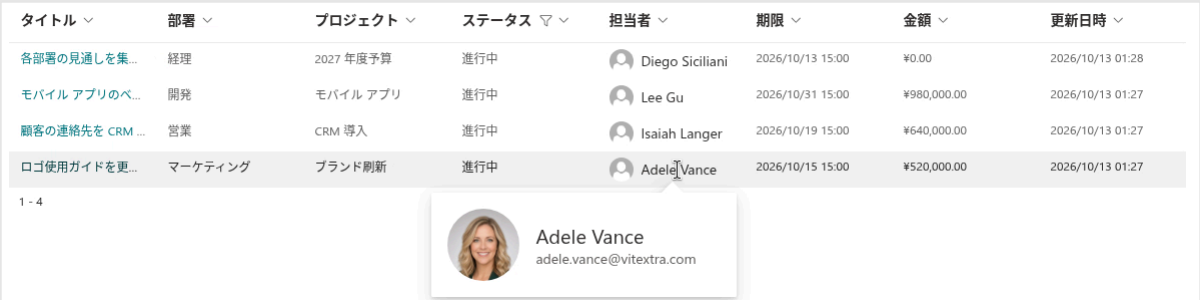


日付と時刻の列の表示形式

組み込みの列の一部には、形式に関係なく固定の表示方法があります。**種類** は、ドキュメントの場合はファイルの種類のアイコン、フォルダーの場合は色付きのフォルダー アイコン、リスト項目の場合は汎用の項目アイコンを表示します。**添付ファイル** は、項目の添付ファイルの一覧を開くクリップ アイコンを表示します。**ファイル サイズ** は、2.4 MB のようにわかりやすいサイズを表示します。**ID** は、幅の狭い列に項目番号を表示します。ライブラリのメディア列は、動画の再生時間と写真の撮影日を表示します。

ユーザーのプロファイル カード

テーブル内のすべてのユーザーまたはグループの値はクリックできます。クリックすると、ユーザーのプロファイル画像、表示名、役職、部署、勤務先の電話番号がカードに表示されます。これらの情報はユーザー プロファイルから読み込まれます。プロファイル サービスを利用できない場合は、代わりに名前とユーザー プリンシパル名が表示されます。カードは、外側をクリックすると閉じます。



テーブル内のユーザーのプロファイル カード

列の幅

列の幅はコンフィギュレーターでは設定しません。Web パーツは、列の種類に応じて開始時の幅を割り当てます。通常の列は 80～400 ピクセル、日付列は 80～160 ピクセル、**ID** 列は 40～60 ピクセル、アイコン列の **種類** と **添付ファイル** は固定で 20 ピクセルと 18 ピクセルです。サムネイル列と画像列は、選択した形式と同じ幅になり、サイズを変更できません。これらの範囲内で、列は Web パーツの利用可能な幅を分け合います。

ユーザーは、**サイズ変更可能** な列のヘッダーの端をドラッグして幅を変更します。新しい幅はページが再読み込みされるまで維持され、保存はされません。

コンパクト モード

プロパティ ウィンドウの **外観**グループには、既定でオンになっている **コンパクト** トグルがあります。コンパクト モードでは、行とグループ ヘッダーの高さが低くなり、画面に表示できる項目が増えます。たとえば、ユーザーまたはグループの列で画像付きの形式を使用している場合や、列に長い複数行テキストを表示する場合など、よりゆったりしたテーブルにしたいときは、オフにします。



外観グループのコンパクト トグル

専用の表示形式がない列の種類

警告

Web　　パーツには、上記の一般的な列の種類に対する専用の表示形式があります。それ以外の種類の列 (たとえば、場所列やサードパーティ製ソリューションによって追加された列) は、値の技術的な表記を含む場合がある生の値のまま、プレーン　　テキストで表示されます。このような列は、ページを発行する前にページ上で確認し、結果が読みにくい場合はテーブルから除外してください。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。

機能

機能は、サイト列、コンテンツ タイプ、Web パーツ、アプリケーション ページ、カスタム アクション、リスト テンプレート、リスト インスタンスなど、SharePoint 要素 (アーティファクト) のセットです。